

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	輪島市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	輪島市文化財総合活用計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「第2次輪島市総合計画（前期基本計画）」（平成29年策定）は、地域固有の歴史文化資産の保存整備・活用、長い歴史を持つ伝統文化・芸能・行事に裏打ちされた「輪島市らしさ」を継承し、輪島市らしい地域づくりを目指すことを基本方針としている。これに基づき、「歴史文化資産」の保存・活用し、「輪島市らしさ」を市内外に伝えることにより、住民の郷土への誇りを醸成し、地域活性化の促進を図るのみならず、その継承と発展につなげるため、下記の取組みを実施する。</p> <p>1. 輪島市門前町黒島町地区の北前船船主集落の魅力発信</p>			
6 実施体制			
<p>本事業においては、輪島市教育委員会事務局文化課を担当課とし、全体計画の企画、調整、事業の指導を行う。また、事業の実施は、次の団体が行う。</p> <p>輪島市文化財総合活用実行委員会（委員長：輪島市教育委員会教育長 宮坂雅之） 構成団体（輪島市文化財保護審議会、輪島市、輪島市教育委員会、時国健太郎、時国信弘、大本山總持寺祖院、黒島まちなみ保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 千円	平成31年度申請額： 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>若年層をはじめとする市民の、地域の歴史や文化、歴史文化資産に対する認識が深まることで、郷土への誇りが醸成されるとともに、歴史文化資産の適切な保存と活用がなされ、次世代への継承につながる。また、世代間、地域間を問わず人々の交流の場が創出され、地域の活性化にも寄与する。さらに、行政と文化財保護団体、民間まちづくり団体の連携が一層強化される。ひいては、地域の雇用創出し、際立たせることにつながる。同様に、地域の魅力が向上することにより、来訪者の増加が期待でき、その魅力発信により効果的な誘客促進、地域活性化を図ることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成33年度を目途に、文化財保存活用地域計画の作成を図る。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	輪島市教育委員会事務局文化課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	その他					
評価指標区分1:	・その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	「北前船主の故郷・黒島の文化」(仮称) SNS ページ 閲覧数			関連事業:		
目標値1:	【現状値】 平成 31 年度 0 PV ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 PV					
設定根拠1:	紹介する各文化財について、輪島市や輪島市観光協会のWEBページにリンクを張り、紹介した文化財へのアクセス方法など観光客の利便性も測るものとする。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
PV	PV	0 PV	1,000 PV	1,000 PV	1,000 PV	
		0%	100%	100%	100%	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	北前船主集落・黒島の魅力発信事業			実施団体：	輪島市文化財総合活用実行委員会	
事業区分：	情報発信			事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度	
事業概要：	全国でも稀な北前船船主集落のひとつである輪島市門前町黒島には、関連する数多くの文化財が現存している。本事業は、北前船主の存在と文化を、地域内外に広く伝えることを目的とする。					
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数 (PV数)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	「北前船主の故郷・黒島の文化」 (仮称) SNSページ 閲覧数					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 0 PV ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 PV					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
PV	PV	0 PV	PV	PV	PV	PV
		0%				